

安全報告書 2011

(2010年度分)



蔵王温泉スキー場

普通索道	蔵王中央ロープウェイ (通年営業)
特殊索道	蔵王中森第1トリプルリフト 蔵王中森第2ペアリフト 中央第1ペアリフトA・B線 中央第2ペアリフトA・B線 片貝トリプルリフト

蔵王観光開発株式会社

1. ごあいさつ

東日本大震災で被災された皆様ならびに関係者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

平素は、蔵王中央ロープウェイをはじめ弊社リフトをご利用いただき、誠にありがとうございます。ございます。

弊社は、東北最大級のスキーリゾートであります蔵王温泉スキー場の中央部に位置し、101人乗りの大型ロープウェイは、冬季は各ゲレンデやスキーコースそして世界的にも有名な樹氷原コースへ、夏季はハイキング・トレッキングコースへのアクセスとして多くのお客様からご利用いただいております。

グリーンシーズンには1370mの鳥兜山頂展望台から月山や鳥海山そして朝日連峰、飯豊連峰の眺望、また蔵王中央高原散策路や不動滝周辺のブナ原生林および蔵王ドッコ沼などの湖沼群がビュースポットならびに観光ポイントであります。

ホワイトシーズンは初滑りから春スキーまで、スキーシーズンが蔵王で一番長い中央ゲレンデ、ビギナーやファミリー向けの中森ゲレンデやダイヤモンドバレーで多くのお客様がスキー・スノーボードを楽しまれております。

ご利用いただいたお客様に、ご満足いただけるよう取組を推進しておりますが、「輸送の安全確保」がすべての事業・サービスの基本であると考え、引き続き継続して関係法令の遵守を徹底し、運転の取り扱い、保守整備、安全対策などに社内一丸となり取組んでまいります。

本報告書は、鉄道事業法および運輸マネジメントに基づき、平成22年度に実施した輸送の安全確保の取組や実態について、皆様にご理解をいただくために公表するものであります。

今後も、安全で快適な輸送のため鋭意努力してまいります。何卒、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

蔵王観光開発株式会社

取締役社長 小 関 和 夫

2. 安全方針と安全目標

(1) 安全方針

当社の経営理念の第一は、輸送の安全確保です。安全に係わる行動規範を次の通り掲げ、社長以下全従業員に周知・徹底しております。

- ① 一致団結して輸送の安全確保に努めるもと。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程（本規程を含む。以下、「法令」という。）、実施細則をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ④ 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いを行うこと。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を行うこと。

- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝えること。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(2) 安全目標

輸送安全目標は次の通りです。

- ① 設備不具合による事故を未然に防ぎ、事故発生ゼロの達成・維持
- ② 人身障害事故ゼロの達成・維持

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故

平成22年度、索道運転事故はありません。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

平成23年3月11日の東日本大震災において、当社施設への影響はなかったものの、非常な事態に鑑み普通・特殊索道とも営業を自粛いたしました。

なお、強風・雷等のため中央ロープウェイは18日延47時間、中央第1ペアリフトは1日1時間A・B線運行を停止しました。

(3) インシデント（事故の兆候）

平成22年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

(4) 行政指導等

平成22年度、東北運輸局からの指導はありません。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育

- 当社は、ロープウェイの定期整備期間に輸送の安全や皆様へのサービス向上を図るため、全従業員により労働安全衛生委員会を年2回開催しました。
- スノーシーズン営業開始前に施設及び取扱い等についての安全教育を実施しました。
- 社外教育研修・講習会にも参加し、技術・安全意識の向上を図り、受けた講義を社内で活用しております。

(2) 緊急時対応訓練

- 中央ロープウェイは、4月（13名）と11月（20名）に救助訓練・予備原動機取扱講習を実施しました。
- 中森第1トリプルリフトは、11月（12名）に救助訓練・予備原動機取扱講習を実施しました。
- その他の特殊索道についても、11月（30名）に救助訓練を実施しました。

(3) 安全確保のための交換・修繕

安全の維持・向上のため、毎年計画的に施設の修繕を行っております。

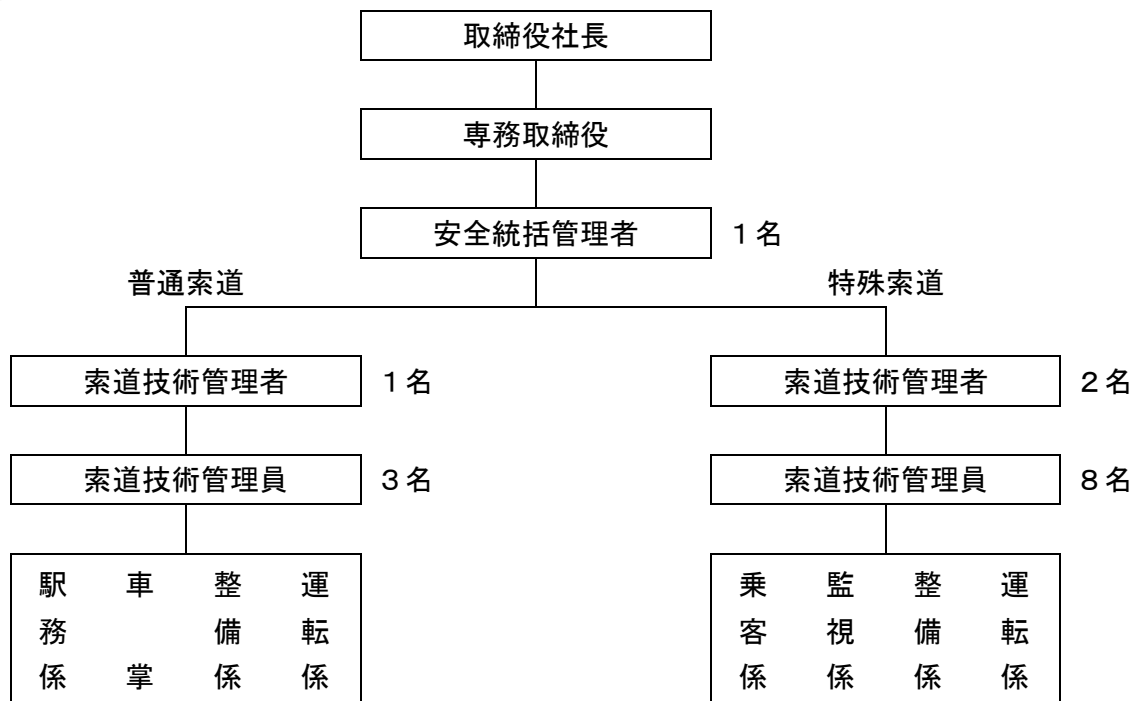
2010年度に実施した修繕等は次の通りです。

- 中央ロープウェイ 曳索（内線）交換

- 中央ロープウェイ クロスフレーム交換
- 中央ロープウェイ ピニオンギヤ調整工事
- 中央ロープウェイ ゴムライナー交換（曳索調節滑車B、平衡索緊張滑車B、曳索誘導滑車1-A）
- 中央ロープウェイ 制動油圧ユニットオイル交換
- 中央第2リフトA線 ブレーキユニット交換
- 中央第1リフトB線 減速機オイル交換
- 中央第1リフトB線 油圧緊張オイル交換
- 中森第2ペアリフト 支曳索交換
- 普通・特殊索道 受索輪交換
- 普通・特殊索道 主要軸受の振動検査

5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしております。



社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守管理、その他の技術上及び教育訓練等の事項に関する業務を管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守管理、その他技術上の事項に関する業務を管理する。

6. お客様との関係とお願い

(1) お客様からのご意見

当社では、お客様の立場に立った、より安全で信頼される索道事業を推進しております。お客様からのお寄せいただいた声は真摯に耳を傾け、当社の財産として、安全で信頼される索道事業を目指し、皆様の期待に応えられるよう努めてまいります。

- 「お客様の言葉」
それは私たちが行動していくための「原点」です。
- 「お客様の期待」
それは私たちが行動していくための「意欲」です。
- 「お客様の感動」
それは私たちが行動していくための「喜び」です。
- 「お客様の評価」
それは私たちが行動していくための「改革」です。

(2) お客様情報の管理

お客様の個人情報を守ることは私たちの基本的なルールです。お客様の情報を本人の同意がある場合、法令に基づく場合等の正当な理由なく、他に漏らす事はありません。

(3) 利用者等への注意事項

- ① 乗り降りに不慣れなお客様は、遠慮なく係員に声をかけて下さい。
- ② 空き缶・煙草の吸い殻・その他の物品を、乗っているリフト等から投げ捨てないで下さい。
- ③ 搬器から飛び降りたり、搬器を揺らさないで下さい。
- ④ 衣服・携帯品・髪の毛等が施設に巻き付かないように注意して下さい。
- ⑤ 混雑時は、ロープウェイ・リフトの定員乗車にご協力下さい。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒990-2301

山形県山形市蔵王温泉940-1

蔵王観光開発株式会社 お客様係

TEL : 023-694-9168 FAX : 023-694-9167